



クローバー

山形市立第十小学校 学校だより 令和8年7月28日(火)

出会いを通して、生き方を学ぶ

6年生は、総合学習で「出会いを通して生き方を学ぶ」をテーマに、多様な分野で活躍する方々から学んでいます。6月25日(木)に、朝日学生新聞社と国立極地研究所との共催で行われた、「昭和基地とつながる! 南極との中継によるオンライン出張授業」に参加しました。山形から約14,000km離れた昭和基地のリアルタイムな中継映像を視聴したり、クイズに参加したりして、越冬隊の生活や研究について知ることができました。地球環境の観測・研究に情熱を注ぐ姿だけでなく、基地内には娯楽施設があること、ごみは分別し日本へ持ち帰ること、毎月防災訓練を実施していること、食料や生活物資は年に一度だけ補給されることなど、厳しい環境の中でも工夫を重ねながら使命感をもって生活し、研究に取り組んでいることを学ぶことができました。

6月30日(火)には、地域にお住まいの大山 忍さんを講師にお迎えしました。大山さんは、医学研究者として感染症研究の第一線で活躍され、WHOのインフルエンザワクチン推奨株の選定にも携わるなど、世界を舞台に研究を続けてこられた方です。講話では、「夢はあきらめなければかなう」「自分の得意なことを見つける」「好きなことを大切に努力を続ける」など、ご自身の経験をもとに子どもたちへ温かなメッセージを送ってくださいました。また、ウイルスや免疫についても分かりやすく教えていただき、子どもたちは医学への興味を深めるとともに、夢に向かって挑戦し続けることの大切さを学ぶことができました。

南極昭和基地とリアルタイムでつながったハイテク学習



地域の先生 大山 忍さん
インフルエンザワクチン株を発見!



地域の先生 門脇 徹さん
戦時中の人々の暮らしに興味津々



4年生は7月10日(金)に、国語「一つの花」の学習で、地域の先生 門脇 徹さんを講師にお迎えし、戦後間もない頃の暮らしや食べ物、遊びなど、ご自身の体験を交えながら当時の生活についてお聞きしました。教科書だけでは伝わりにくい時代の空気や人々の暮らし、戦後直後の生活を経験した方の思いに触れることで、太平洋戦争を題材とした「一つの花」の読み取りがより深まり、登場人物の気持ちや時代背景を自分事として考える学びとなりました。さえさんは、「納豆ひとつを10人で分け合ったり、川の水を飲んだり、落ちて実を食べるなど、今の生活では信じられないことをしていた。ゆみ子の生活や気持ちを考えながら学習していきたい。」と振り返りました。本物との出会いは、子どもたちの視野を広げ、知識だけでなく、生き方や考え方を学ぶ大きな機会となります。今後も地域の方々や社会で活躍する方とのつながりや出会いを大切に、生き方を考え、未来を切り拓く力を育む教育活動を進めてまいります。

みんなでつくる 明るく 楽しい学校

7月14日(火)の全校朝会で、計画委員会のふうこさんとまりなさんが登壇し、児童会目標「みんな仲よくして明るく楽しい学校にしよう」について、1学期の振り返りを発表しました。【なかよく】については、「仲よしが増えた」「ハッピータイムや掃除で交流できた」「他の学年にも仲よしが増えた」、【明るく】については、「誰にでも明るく挨拶できて、笑顔が増えた」とのことで、子どもたちが学校生活を前向きに見つめている姿が感じられました。さらに、2学期に向けて「マナーやルールを守る」「廊下を歩く」「思いやりを持つ」「言葉づかいに気を付ける」など、よりよい学校をつくるためのキーワードが伝えられると、各学年から次々と手が挙がり、「廊下の歩き方に気を付けたい」「言葉づかいに気を付けたい」「お互い声を掛け合って注意し合いたい」と、自分の考えを述べました。全校の前でも堂々と自分の言葉で話す姿が素晴らしく、児童会目標を自分事として捉え、よりよい学校をつくりたいという気持ちがまっすぐに伝わってきました。今後も子どもたち自身の力で、明るく楽しい学校づくりを進めていってほしいと思います。





クローバーグラム

2年生の畑に
かわいらしいスイカ
が実りました



7月16日(木) 地域の先生と昔の遊びで広がる笑顔

3年生が総合学習で地域の先生方をお迎えし、昔の遊びを教えていただき楽しみました。ご指導いただいたのは、菅野 直人さん、門脇 徹さん、門脇 静子さん、吉田 真弓さん、鈴木 幸代さん、山川 輝彦さん、高橋 世智子さん、鈴木 一雄さん、三井寺 諭さんです。

子どもたちは、めんこ、こま、お手玉、ゴム跳び、紙飛行機、まりつきなど、昔から親しまれてきた遊びに挑戦しました。初めは思うようにできず戸惑う姿も見られましたが、地域の先生方から遊び方やコツを優しく教えていただくと、何度も挑戦するうちに少しずつ上達し、友達と笑顔で声を掛け合いながら夢中になって楽しんでいました。

活動後の振り返りでは、「みんなでやると楽しい」「友達との会話や笑顔が増えた」「ゲームより達成感がある」「一つの遊びでもいろいろな遊びができる」「見ているだけでは分らず、やってみることが大切だと感じた」など、多くの気づきや学びが発表されました。

また、「もっといろいろな昔遊びを知りたい」「幼稚園や保育園の子どもたちにも教えたい」「家族や外国の人にも伝えたい」など、学びをさらに広げようとする意欲も育まれました。

地域の先生方からは、「子どもたちから元気をもらいました」と温かい言葉をいただき、世代を超えた交流の素晴らしさを感じる時間となりました。地域の先生方、本当にありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



AI 時代だからこそ、本物の体験を

7月29日(水)から8月24日(月)まで、夏季休業となります。子どもたちには、ご家庭や学校の約束を守り、規則正しい生活を送りながら、熱中症や水の事故、交通事故などに気を付け、安全で充実した夏休みを過ごしてほしいと願っています。

さて、ゲームやVR、生成AIの発達により、自宅にしながら多くのことを学び、さまざまな疑似体験ができる時代になりました。私(校長)自身も、子どもたちと一緒に十小オリジナルヒーロー「クローバー戦隊 ジュッショウジャー」の制作を楽しみながら、生成AIの新たな可能性に触れています。一方で、自然の光や風、味、におい、感触、対話や笑顔、仲間と協力する喜びなど、本物だからこそ感じ、得られる価値は、技術が進歩しても変わることはないと思います。

この夏は、自由研究や工作、地域の行事への参加、自然との触れ合いなど、時間をかけて「本物の体験」に挑戦してほしいと思います。一つ一つの経験が、子どもたちの感性や探究心、人を思いやる心を育み、未来を切り拓く大きな力になります。夏休みだからこそできる挑戦を積み重ね、一回り成長した子どもたちと二学期に再会できることを、教職員一同楽しみにしております。

本校は今年も山形花笠まつりに参加します。8月7日(金)の最終日に、児童、保護者、教職員合わせて200名を超える「チーム十小」が、七日町大通りを元気いっぱい踊りで彩ります。現在、体育館では息の合った掛け声や本校オリジナルの踊りに磨きをかけています。ぜひ沿道から温かいご声援をお願いいたします。

保護者・地域の皆様には、夏休み中も子どもたちへの温かな見守りを賜りますようお願いいたします。子どもたち一人一人にとって、思い出と学びにあふれた実り多い夏休みとなることを心より願っております。

昨年度の山形花笠まつりの様子

